

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士	科 目 区 分	その他	授業の方法	実 習
科 目 名	国際医療福祉	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部4年	学期及び曜時限	前期	教室名	801
担 当 教 員	椿原 一郎				
実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害系病院で勤務。 また、整形外科クリニックにおいて外来リハビリテーションにも従事。				
《授業科目における学習内容》					
学内で海外の最新の医療・福祉の現状、技術について学ぶ。 講義を含め、会話は全て英語で行う。					
《成績評価の方法と基準》					
レポート100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
配布物資料					
《授業外における学習方法》					
事前に配布しているプログラム等を使用し、見学する大学、施設等を確認する。					
《履修に当たっての留意点》					
講義、演習が中心となります。実技もありますので白衣の準備をお願いします。体調をしっかりと整えておいてください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ①	配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。	
	各コマにおける授業予定	座学			
第 2 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ②	配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。	
	各コマにおける授業予定	座学			
第 3 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ③	配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。	
	各コマにおける授業予定	座学			
第 4 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ④	配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。	
	各コマにおける授業予定	座学			
第 5 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ⑤	配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。	
	各コマにおける授業予定	座学			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	実践的な英会話について学ぶ①	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第7回	授業を通じての到達目標	実践的な英会話について学ぶ②	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第8回	授業を通じての到達目標	実践的な英会話について学ぶ③	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第9回	授業を通じての到達目標	実践的な英会話について学ぶ④	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第10回	授業を通じての到達目標	実践的な英会話について学ぶ⑤	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第11回	授業を通じての到達目標	実践的な英会話について学ぶ⑥	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第12回	授業を通じての到達目標	実践的な英会話について学ぶ⑦	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第13回	授業を通じての到達目標	実践的な英会話について学ぶ⑧	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第14回	授業を通じての到達目標	海外での作業療法を知る①	配布資料	質問したい事柄を用意しておく
	各コマにおける授業予定	海外提携校教員からの講義を受講。		
第15回	授業を通じての到達目標	海外での作業療法を知る②	配布資料	質問したい事柄を用意しておく
	各コマにおける授業予定	海外提携校教員からの講義を受講。		